

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

インフルエンザ患者数が急増-14の都道府県で定点当たり報告数が30を上回る報告



注目すべき感染症
P.4

インフルエンザ-前週(1月10日～1月16日)に比べ定点当たり報告数は2倍以上になっている / 98-99シーズンと比較して今シーズンの学校での流行は大きい見込み



病原体情報
P.5

インフルエンザ-A/香港型の分離件数も増加中 / 感染性胃腸炎-2000年に入り一部地域からSRSVの検出報告



IASRからの速報
P.6-7

愛知県におけるボルンホルム病の流行-ボルンホルム病と診断された25名中12名からコクサッキーB2型ウイルスを分離 / ワイル病による死亡事例-宮城県



海外感染症情報
P.8-9

インフルエンザ世界流行状況 / コレラ流行の再燃-マダガスカル / 大規模な赤痢の流行-シエラレオネ / 麻疹の流行-オランダ



感染症の話
P.10-11

ブルセラ症
ウシ、ヒツジなどの家畜を含む動物への依存度の高い地域社会では、適切な予防が必要とされる人獣共通感染症



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(3週)
P.13-19



3週のデータ
P.20-27



発生動向総覧

第3週コメント 1月27日集計分

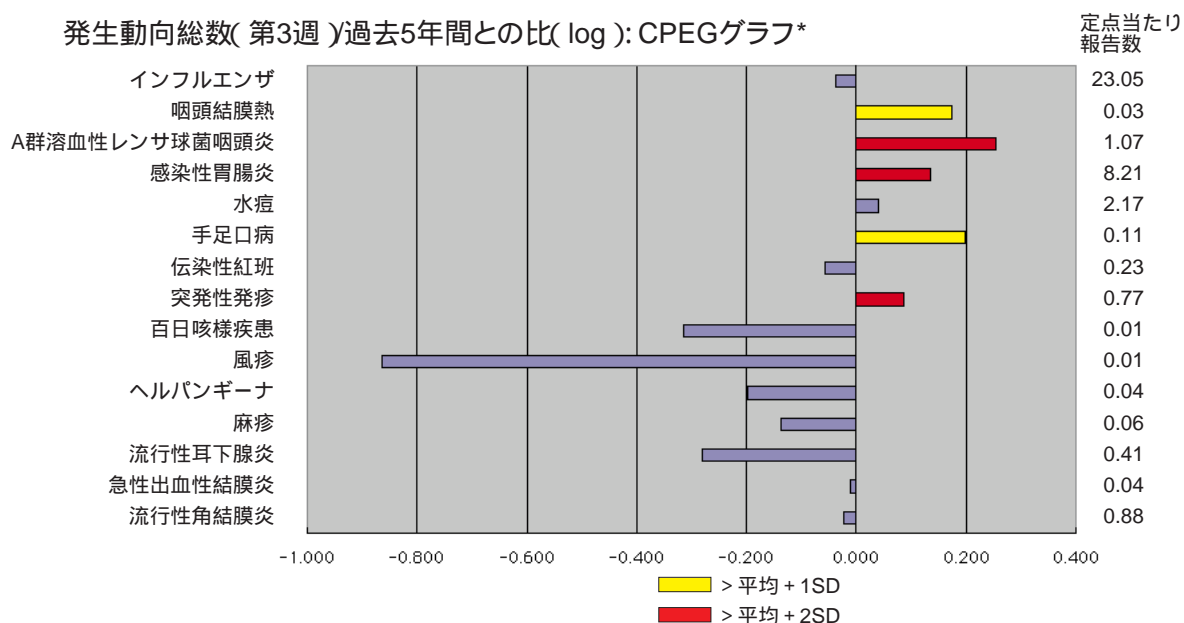
全数報告の感染症

- 1類感染症の報告はない。
- 2類感染症: コレラ2例(推定感染地: ともにタイ)
 - 細菌性赤痢11例(推定感染地: 日本国内5例、インド3例、ベトナム2例、インドネシア1例)
 - パラチフス1例(推定感染地: 日本国内)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症は11例報告されている。
- 4類感染症: アメーバ赤痢1例
 - 急性ウイルス性肝炎15例
 - A型13例__国内感染12例、不明1例
 - B型1例
 - C型1例
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発型) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群6例、ジアルジア症1例、ツツガムシ病6例、梅毒8例
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
 - マラリア3例
 - 熱帯熱マラリア2例__推定感染地: セネガル1例、タンザニア1例
 - 三日熱マラリア1例__推定感染地: アフリカ__国不明1例
 - レジオネラ症1例

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザの報告が急増しており、定点当たり報告数が30を超えた都道府県が14ある。特に、東海・北陸と瀬戸内海沿岸の中国・四国地方からの報告が多くなっている。患者の年齢階級別で見ると9歳以下が全体の約60%を占めている(インフルエンザ流行についての詳細な解説と分離ウイルスについては4ページインフルエンザ流行情報参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、例年の同時期よりかなり多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数5.1、佐賀県で4.6のほか、ほぼ全国的に流行が見られる。咽頭結膜熱の定点当たり報告数が例年よりやや多く、手足口病は非流行期であるが複数の県からまとまった数の報告があり、定点当たり報告数は、統計学的に例年より有意に多い。

発生動向総数(第3週)過去5年間との比(log): CPEGグラフ*

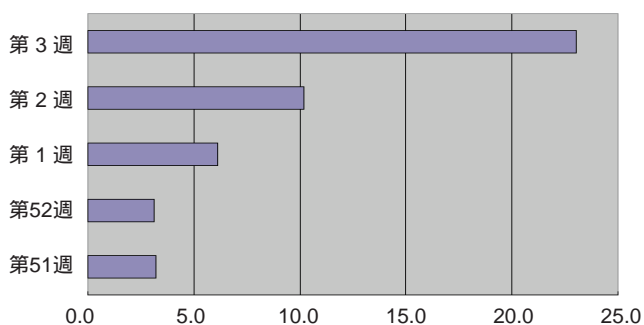


*当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。CPEGグラフについての詳しい説明は第2巻2号「読者のコーナー」を参照。

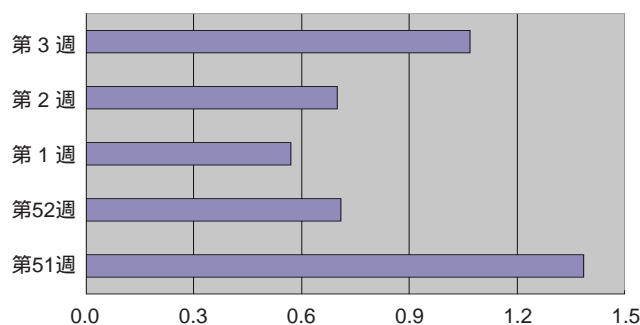
最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザ患者の定点当たり報告数は急増中であり、前週の定点当たり報告数は10.2、今週は23.1と2倍以上になっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は今年に入って定点当たり報告数が増加傾向にある。感染性胃腸炎は、流行曲線が既にピークを形成し、患者の定点当たり報告数はほぼ横ばいとなっている。水痘は全国的に流行が見られるが、患者の定点当たり報告数に大きな変化はない。麻疹は患者報告数に大きな動きはないが、例年春にかけ流行曲線が上昇するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。

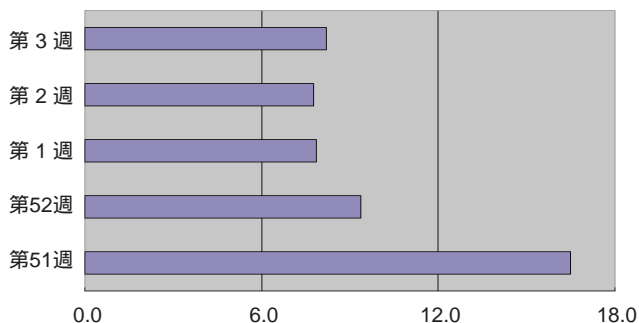
インフルエンザ



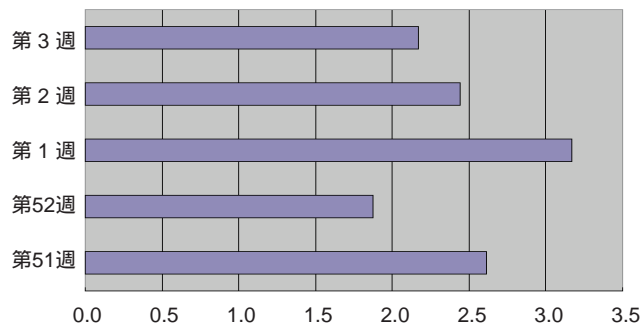
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



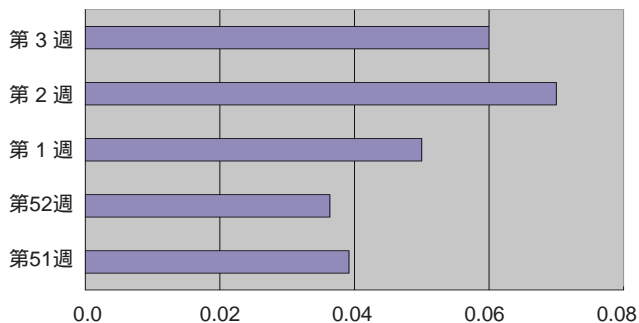
感染性胃腸炎



水痘



麻疹



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

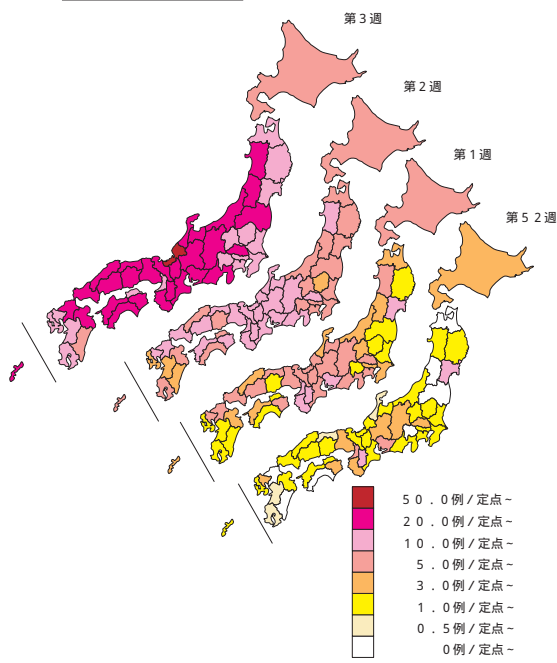
インフルエンザ流行状況

2000年第3週(1月17日 ~ 1月23日)現在、全国定点医療機関からの報告患者総数は104,615件で、定点当たり23.1と、前週(第2週)の倍以上に増加しており、現在上昇中と考えられる。今後も増加が予想されるが、現在のところ定点当たり報告数は平年並みである。都道府県別では、以下の地図グラフで見られるように、多数の都道府県で、平均の定点当たり報告数が20を超えており、患者報告数は増加傾向にある。

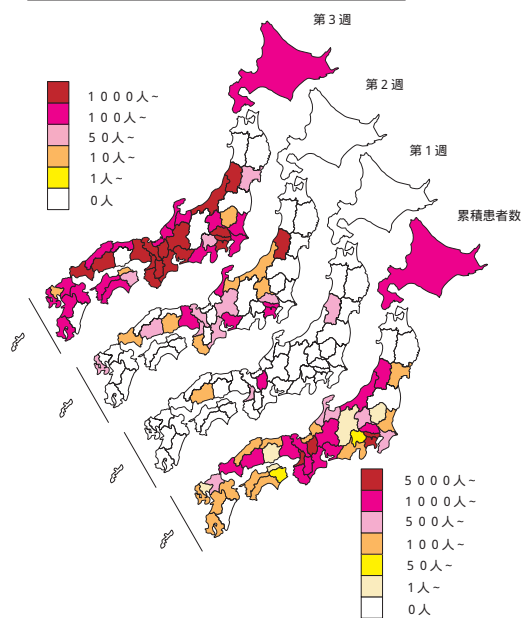
1月21日までに、国立感染症研究所ウイルス第1部呼吸器系ウイルス室には、合計1,250株のウイルス分離報告が入っており、このうち727株がA/ソ連型(H1N1)、522株がA/香港型(H3N2)、1株がB型である。ほとんどの都道府県にて、A/ソ連型とA/香港型が混合して分離されている。B型は福岡市(12月13日採取分)と広島県(12月8日採取分)にて2件分離されている。全国的に、A/香港型とA/ソ連型の混合流行の様相を呈している。

学校からの報告では、患者数は近畿圏、首都圏を中心に増加しており、インフルエンザ様疾患発生報告(第10報、平成12年1月16日 ~ 1月22日)によると、この週の患者数は55,593名、欠席者数は31,589名とこの週に大きく増加した。総患者数は平成11年11月7日からの累計で77,307人(昨年同期31,092人)、総欠席者数は累計で44,183人(昨年同期15,911人)となっており、今シーズンは98-99シーズンに比較して学校での流行は大きいと考えられる。学校の欠席者が報告されている41都道府県のうち、A/ソ連型の分離報告のあるのは11府県、A/香港型の報告が5道県、両方分離されているところが6都県で、インフルエンザウイルス分離報告がないところは19県である。

発生動向調査
(3週時点)



インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)



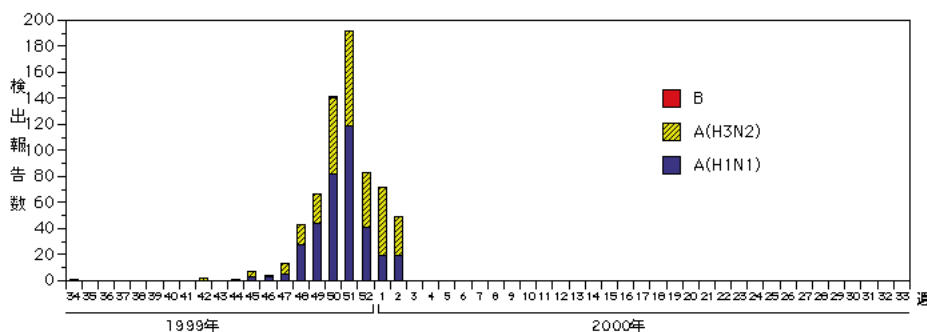


病原体情報

インフルエンザ

分離報告数は徐々に増加している。これまでのところ分離報告数ではA/ソ連型がやや優勢であったが、ここへ来てA/香港型の分離件数が増加中である。ウイルス分離に関する詳細は前項「注目すべき感染症」インフルエンザ流行状況を参照されたい。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン (病原微生物検出情報: 2000年1月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

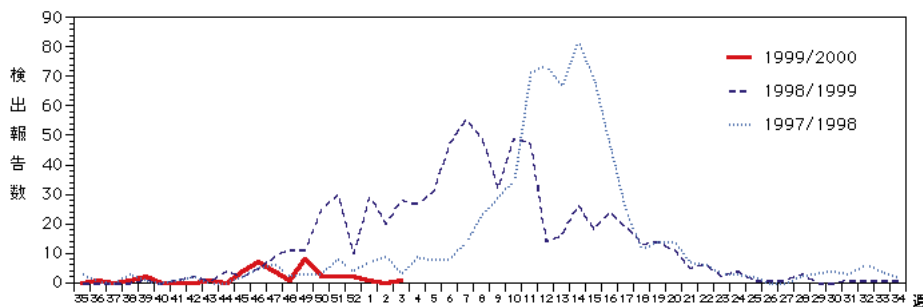


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎

2000年に入り新潟県、大阪府、北九州市、山梨県からSRSVの検出報告がある。ロタウイルスの検出報告は今シーズンは低めに推移しており、2000年に入ってわずかに岩手県、新潟県から1件ずつの検出報告があった。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000) (病原微生物検出情報: 2000年1月26日現在報告数)

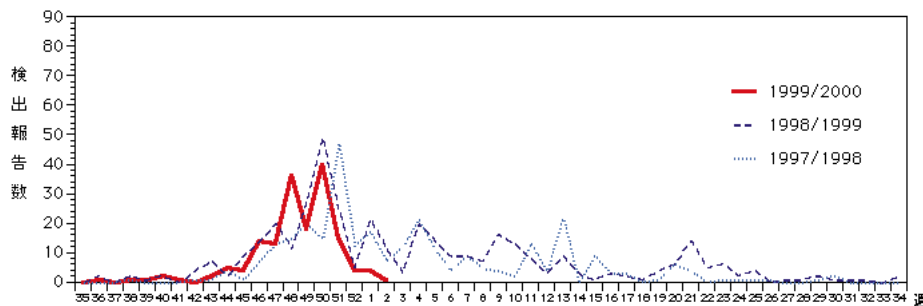


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000) (病原微生物検出情報: 2000年1月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

ボルンホルム病の流行—愛知県

1999年3月～10月に、小牧市内の小児科医院を受診した患者223名についてウイルス分離検査を実施したところ、流行性筋痛症(以下ボルンホルム病)と診断された25名中12名からコクサッキーB2型ウイルス(以下CB2)が分離された。同時期の他の患者からは気道炎と診断された患者1名から同ウイルスが分離されたのみであった。

患者の年齢階層は3歳～8歳が最も多く、CB2もこの年齢層からよく分離された。一方、29歳と44歳の成人の患者もあり、29歳の女性からCB2が分離された。

県下の他の地区(市民病院)におけるCB2の分離状況は小牧市から西へ11km離れた一宮市で5名、南東へ44km離れた岡崎市で2名、岡崎市からさらに南西に15km離れた西尾市で2名、南東へ28km離れた豊橋市で1名であった。小牧市以外で分離された患者の診断名は無菌性髄膜炎(7名)、脳炎(2名)および上気道炎(1名)であったが、患者の診断名に「流行性筋痛症」あるいは「ボルンホルム病」の記述があったのは小牧市のみであった。

今回のCB2によるボルンホルム病の主な症状は、発熱、胸痛、咽頭発赤などであった。胸痛の部位は主に前胸部であったが、背部や上腹部に及ぶものも見られた。胸痛の程度は極めて強く、胸痛時に泣き叫ぶものや、痛みのために呼吸抑制をきたしたもの、胸痛を訴えるだけで比較的平気なものなどさまざまであった。口腔内所見では咽頭発赤が全例に、ヘルパンギーナ様口内疹が2例に観察された。

ボルンホルム病はバルト海のデンマーク領ボルンホルム島での流行から「Bornholm病」と名付けられた。本症はエンテロウイルスを代表する病態の1つであり、主にコクサッキーB群ウイルスに特異的な疾患である。欧米での報告例に比し、本邦での報告は少ない。著者らの経験では1992年から現在までにウイルスが分離され、ボルンホルム病と確定できた症例は12例であった。そのうち、昨年にはCB3が5例から分離されており、さらに今年はCB2が12例から分離され、決して少ない病気ではないものと思われる。

本邦においてはボルンホルム病に対する関心は薄く、あまり注目されてこなかったが、夏風邪流行中には常に本症を念頭に置き観察することにより、本症の正確な発生状況がつかめるものと思われる。

志水こどもクリニック 志水哲也

愛知県衛生研究所 山下照夫 杉山 雅 都築秀明 榮 賢司 鈴木康元

ワイル病による死亡事例—宮城県

ワイル病の疑いで死亡した症例について血清学的にワイル病と確定したので報告する。

患者は宮城県北部に在住する45歳の男性(農業)で、1999年9月27日より発熱・頭痛・食欲不振などにより近医に通院していたが症状は改善せず、10月1日に町内の病院を受診した。受診時は全身に黄疸を伴う肝障害や腎障害(無尿)を呈しており、10月2日にF市立病院へ入院となった。

入院時の症状は血圧が60～70mmHg台とプレショック状態で呼吸機能も悪化していた。主な臨床検査結果は尿蛋白強陽性・総ビリルビン量や肝機能値の増加、白血球数の増加・赤血球数

や血色素数の減少を示し、特に血小板数が 1.7万/ μ lと低く肺出血像などの出血傾向が著明であった。レスピレーター管理や輸血などの各種治療を行ったが、症状の進行は早くかつ激烈で、10月4日に多臓器不全で死亡した。

10月2日に採取した凍結保存血清(1回目血清)および4日に採取した血液(2回目血清)・髄液について、暗視野顕微鏡による観察、顕微鏡学的凝集反応による血清抗体価の測定、PCR法によるレプトスピラ遺伝子の検索を行った。その結果、10月4日の血液中にレプトスピラを確認した。また、同日の血液と髄液中にレプトスピラ遺伝子を検出した。血清抗体価は *Leptospira copenhageni* 芝浦株に対して1回目血清で1:10、2回目血清で1:40と4倍の抗体上昇が確認され、血清学的にワイル病であることが判明した。

宮城県において、ワイル病患者は1960年代まで多発していたが、近年は予防接種や農業の機械化によって激減しており、最近では1987年に1名の患者が確認されたのみで、死亡例は1983年以後のことである。しかし、県内の野ネズミのレプトスピラ保有状況は患者が多発した時代も1990年代も大きな差は認められず、自然界におけるレプトスピラの汚染は現在も過去と同様の状況と推測されていた。また、1994年の予防接種法改正後、レプトスピラ病の予防接種は実施していないため、過去に患者が多発した地域住民におけるワイル病に対する感受性者が増大していると推察され、ワイル病の発生が危惧されていたところであった。

本事例の推定感染地は過去にワイル病患者が多発した地域でもあり、今後感染症新法の対象外であるワイル病について医療現場への情報提供を行うなど十分な注意を喚起する必要がある。

宮城県保健環境センター 秋山和夫 野池道子 後藤郁男 白石廣行 沖村容子
古川市立病院 涌澤圭介 角道紀子 矢野光士

(IASR2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

トピックス

[WHO/WER 2000,75,17-28](#)

インフルエンザ世界流行状況

イギリス(1/10)...12月最終2週間には、地域的な流行。1月第1週までに流行は予測以上になった。全ての確認例はA型(H3N2)によるもので、近年流行がみられた株や今年のワクチンの株と類似している。今季最初のB型の分離が報告された(B/Yamanashi/166/98-like)。

イタリア(1/10)...12月第3週A型が数カ所の局地的な地域で発生しその後、地域的流行にまで広がった。同国中央・北部の市や州のほとんどで感染がみられた。分離株はA(H3N2)だった。

フランス(1/10)...12月第3週A(H3N2)の流行が拡大し、全年齢層に中程度の罹患がみられる。1999年最終週までにA(H3N2)の流行はピークに達し同国全土に広まった。1月第1週までに週間患者発症率は人口10万人に対し861人となっている。最近5週間の流行で、140万人以上の患者がインフルエンザ症状により医療機関を受診した。そのうち0.6%が入院した。

アメリカ合衆国(1/10)...12月第2週以来、州の患者数が増加し、広範囲または地域的な流行。1999年の最終週、受診患者の比率は全9地域で既に基準を越えていた。過去2週間に検査された検体のうち31%がA型陽性で、ほとんどがA(H3N2)によるもので以前の記録24%より上昇した。

スペイン(1/10)...Castilla y Leonでは流行が始まってから5週目となる。各州のほとんどで流行がみられ、最も新しい株A/Moscow/10/99(H3N2)とA/Panama/2007/99に類似のインフルエンザA(H3N2)が分離された。12月最終週の週間患者発症率は人口10万人に対し350人に達した。

ドイツ(1/10)...12月第3週患者数はかなりの増加があり、特に同国南部で多かった。翌週には、インフルエンザA(H3N2)の流行規模は同国全土、特に南部および中央部で拡大している。

その他本文中に報告されている国

ベルギー、カナダ、チェコ共和国、デンマーク、フィンランド、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、ラトビア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、スロバキア、スウェーデン、スイス、その他

詳しくはURL :(原文) <http://www.who.int/wer/pdf/2000/wer7503.pdf>

(翻訳) <http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/promed/japa/flu.html>

[WHO情報\(1月28日 \)](#)

マダガスカルでコレラ流行の再燃

マダガスカルで1999年3月末に始まったコレラの流行は死者433名を含む患者6,983名を記録したが、12月初旬雨期の始まりと共に再燃し、1月10日まで新たに死者121名を含む患者3,176名を記録した。3-4月まで続く雨期が終了するまで、高率に患者が発生すると見込まれている。

WHO情報(1月24日)

シエラレオネで大規模な赤痢の流行

保健省の報告では1999年12月16日から2000年1月16日までに赤痢患者3,094名および死者132名(致死率4.27)となっている。 *Shigella dysenteriae* 1型 (Sd1) が3件検出された。流行は拡大している模様である。

Eurosurveillance Weekly, 1月6日号

オランダでの麻疹の流行

オランダでは1999年4月15日から現在までに2,300人の麻疹患者が報告され、その97%はワクチン未接種者であった。患者発生はほぼオランダ全域にわたって見られたが、いわゆる「聖書地帯 (Bible belt) 」とよばれる地域に集積している。この地域では宗教的理由により子どもたちにワクチン接種を受けさせない人々が少なくとも30万人住んでいる。患者の約20%は重篤な合併症を併発し、53人が入院(肺炎が30人、脳炎が4人、その他19人)、3人が死亡した。130人が自宅で合併症である肺炎を治療し、152人が中耳炎、87人にその他の合併症(ほとんどが上気道感染症) がみられた。オランダ保健省はこのデータを公開し、麻疹が危険な疾病で、ワクチン接種が予防に極めて有効な手段であると親たちを説得することに努めている。





感染症の話

ブルセラ症

ブルセラ症はブルセラ属菌による人獣共通感染症である。食料や社会・経済面のみならず共同生活者としても動物への依存度が強い国や地域ではいまだに重要な感染症の一つである。一方、多くの工業国では動物のブルセラ症対策が行き届いた結果、人のブルセラ症も減少した。これらのことは人のブルセラ症の発生が保菌動物の存在に依存していることを示している。

疫学

本症のおもな分布域は地中海地域、西アジア、およびアフリカとラテンアメリカ等で、一部地域では増加傾向にあるとされる。流行地で報告される発生数には大きな幅があるが、動物に対するブルセラ症対策が行われていない地域での報告が多い。動物間でブルセラが流行している地域で人の感染率が低く報告されている場合にはサーベイランスや報告システムの不備である可能性を疑う。一部の国々では、本来ヒツジと山羊を自然宿主とする*B.melitensis*、およびブタを自然宿主とする*B.suis*がウシに定着して人への感染源となり、公衆衛生上の新しい問題となっている。

ブルセラ症は感染動物の乳や乳製品の喫食、感染動物(ウシ、ヒツジ、ヤギ、ブタ、ラクダ、パファロー、野生反芻獣、および希にアザラシ)やその死体および流産組織との接触によって感染する。酪農・農業従事者、獣医師、屠畜場従事者には職業的な感染のリスクが高く、実験室内感染もある。

病原体

ブルセラ属には多様な菌種が含まれることが示され、*B.abortus*, *B.suis*, *B.neotomae*, *B.ovis*, *B.canis*, そしてさらに最近では海洋動物に病原性を示す*B.maris*も分離されている。このうち公衆衛生的には*B.melitensis*感染の問題が大きく、家畜に対して重要なのは*B.abortus*によるウシの感染である。

ブルセラ属菌の系統的な相関関係はrRNAの塩基配列によって解析される。最も近縁な菌は日和見感染の原因ともなる環境菌*Ochrobactrum anthropi*で、この菌はブルセラ特異的PCRによっても検出される。

ブルセラ菌は食細胞、非食細胞のいずれにも感染しうるが、細胞への接着と侵入に関与する遺伝子および菌体成分は明らかではない。菌体成分のうち免疫防御を誘導する主要な抗原はS-LPSで、菌の細胞内生残に関与している。S-LPSは腸内細菌のLPSと異なり、内毒素感受性のマウス、ウサギ、ニトリ胎児に対する毒性およびマクロファージに対する毒性が低く、発熱性と低鉄血症誘導能も低い。これらはいずれも実験によって明らかにされたことであるが、ブルセラ菌の自然宿主に対する病原性発現の機序には不明の点が多い。

臨床症状

ブルセラ症の潜伏期間は通常1-3週間であるが数ヶ月に及ぶ場合もある。症状は他の熱性疾患と類似しているが筋肉骨格系に及ぼす影響が強く、全身的な疼痛感、倦怠感、衰弱、および鬱状態と、持続的、間欠的、または不規則な発熱が見られる。一部では泌尿生殖器の症状が顕著である。症状は軽症で自然治癒する場合もあるが重症化することもある。病気の期間は2-3週間から数ヶ月間である。

病原診断

病原体については血液培養による診断が有効で、発熱時の、なるべく抗生物質投与前の血液、リンパ節生検材料、骨髓穿刺材料などを対象とする。培養は*B.abortus*である場合を考慮し、炭酸ガス培養を行う。37℃で2-14日間培養し、菌数の少ない菌血症の検索には増菌培養も行う。ブルセラ属菌は小さい正円形、半球状にやや隆起した表面平滑なコロニーで、3日以上培養で直径1.5-2mmになる。菌は

グラム陰性の短桿菌で単在することが多く、長い連鎖は作らない。両端濃染性を示さない。予備的な同定は形態、培養性状、および血清学的方法で行う。確定同定はファージ型別、酸素代謝、または遺伝子型別によって行う。ブルセラ属菌は研究室感染の危険が最も高い病原細菌の一つであるため、材料は Biosafety Level 3 基準を満たす条件で取り扱うことが望まれる。

ブルセラ症は多くの場合慢性経過をたどり、有症状期でもすでに抗体を保有していることが多いため日常的な診断で血清診断の持つ意義は大きい。血清反応のうち標準的に行われる試験管凝集反応は操作と判定が容易で、市販の家畜用の標準菌液を準用することができる。感染早期では2-メルカプトエタノール感受性のIgM抗体が検出される。活動型の感染はIgAとIgG抗体の検出が指標となる。

治療・予防

ブルセラ菌にはテトラサイクリンなどの抗生物質が有効であるが、細胞内寄生であるためリファンピシンやキノロン剤などの抗生物質を併用する必要がある。成人の急性ブルセラ症に対するWHOの推奨治療法は600-900mg/日のリファンピシンと200mgのドキシサイクリンを6週間投与する方法である。髄膜脳炎や心内膜炎等の合併症がある場合にはリファンピシン、テトラサイクリン、およびアミノグリコシド剤を併用する。小児で合併症がない場合にはリファンピシンとコトリモキサゾールの併用が推奨される。抗生物質耐性のブルセラ属菌の存在も知られているが、その臨床的な意義は明らかではない。

現在、弱毒変異株を用いたワクチンの開発が行われているが実用化には至っていない。実際的には人のブルセラ症の予防は感染動物の根絶および乳と乳製品の適切な加熱処理、予防接種、および検査陽性動物の殺処分(Test and Slaughter)などを始めとした獣医学的な対策が有効である。これらの方法によって人のブルセラ症の発生が激減した国や地域が多い。

感染症新法の中でのブルセラ症の取扱い

ブルセラ症は、第4類の全数届出疾患に定められており、診断した医師は診断から7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

《 報告のための基準 》

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出

例：血液、骨髄その他の組織からの菌の培養・同定など

- ・病原体に対する抗体の検出

例：試験管凝集反応(1 : 160倍以上の力価)

補体結合反応、競合酵素抗体法では急性期と寛解期で4倍以上の力価上昇など

(国立感染症研究所 獣医科学部 神山恒夫、細菌部 渡辺治雄)



読者のコーナー

新宿区 Bさんより

毎週、感染症週報を拝見させて戴いておりますが、第51/52週分の週報がうまくみることができませんでした。これまでなんの支障もなくみることができたのですが、ファイル形式が変わったのでしょうか。それともウェブサーバにトラブルが生じているのでしょうか。

感染症週報のファイル形式について

感染症週報は、Portable Document File (PDF) というファイル形式で作成されておりますので、ご覧戴くためには、まずファイルのダウンロードを行い、その後アドビアクロバットリーダー (Acrobat Reader) にてそのファイルを読み込んで表示していただく必要があります。アクロバットリーダーは、日本語版のバージョン4.0をお使いいただくことをお勧めします (アクロバットリーダーは無償でアドビ社のホームページからダウンロード可能です)。旧バージョンですと、しおり機能が使用できないことがありますし、英語バージョンですと文字化けすることがあります。

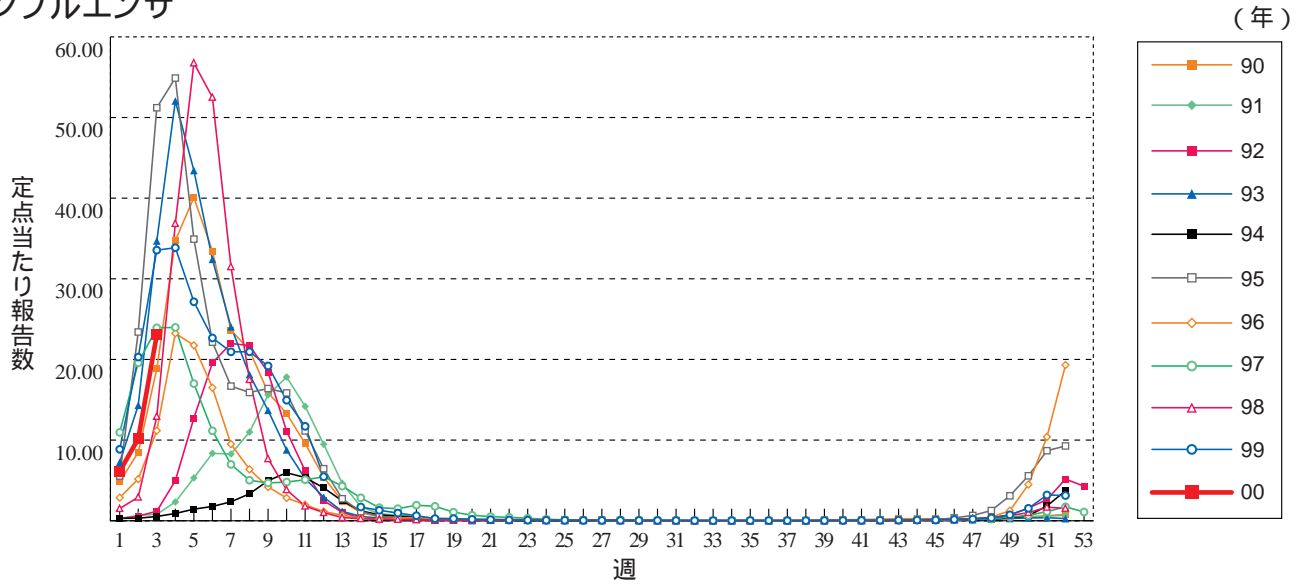
少なくとも御連絡いただいた前後に当センターのウェブサーバにトラブルはございませんでしたし、他からのクレームもございませんでしたので、サーバのトラブルではないと思われまます。ただ、この週のもの、毎年年末は報告数が激減することから、51週と52週の合併号にしましたため、他の号より若干容量が大きくなっております。すなわち、通常は600 ~ 800KBですが、この号に限っては1MBでした。これまでも、使用されているコンピュータの搭載メモリが少ない場合、あるいは他のソフトウェア、あるいはシステムが占有しているメモリが大きく、残っているメモリが少ない場合には、PDFファイルが読めなくなるということは報告されておりますので、メモリ容量が原因ではないかと考えます。通常の感染症週報ファイルを読むためには、一般的なウインドウズパソコンに搭載されている64MBメモリで十分と思われまます。今回のようにファイルが大きい場合には、相対的にメモリ不足になることはあり得ると思ひます。この場合には、メモリを増設するか、仮想メモリを使用する、あるいはメモリの割り当てを変更することが考えられまます。上述のように通常の感染症週報ファイルには、現在のままで問題ないのではないかと考えます。今後こちらでも、ファイル容量にも気を付けていきたいと考えておりますので、引き続き問題がございましたら、このメールアドレスに御連絡いただけましたら幸いです。

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q : をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

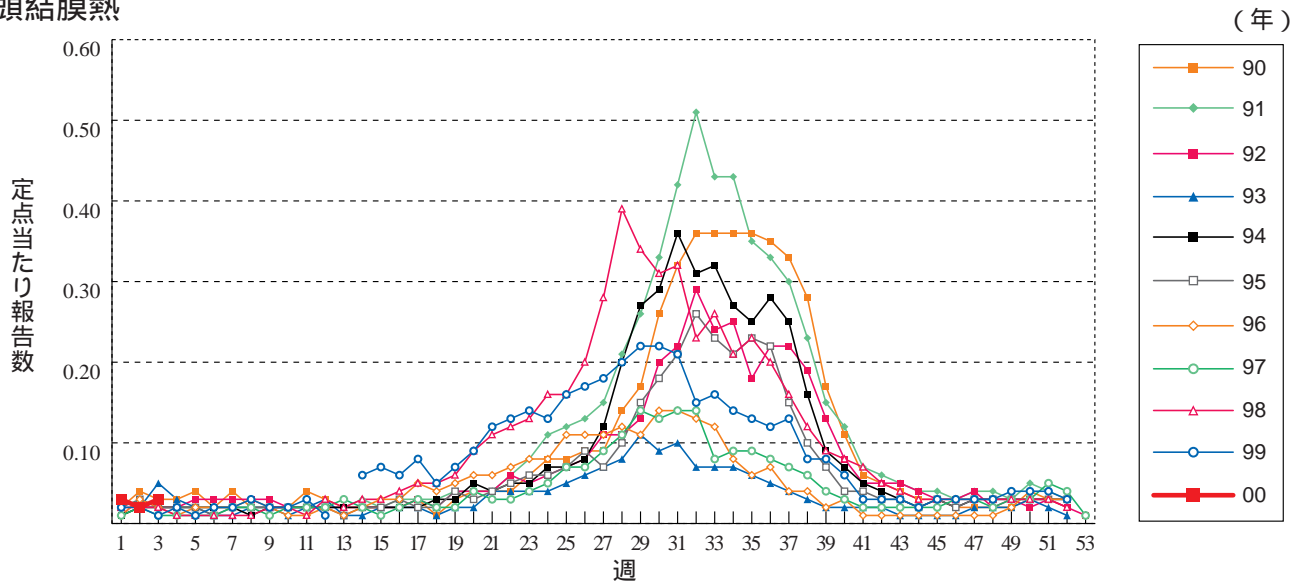
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(3週)

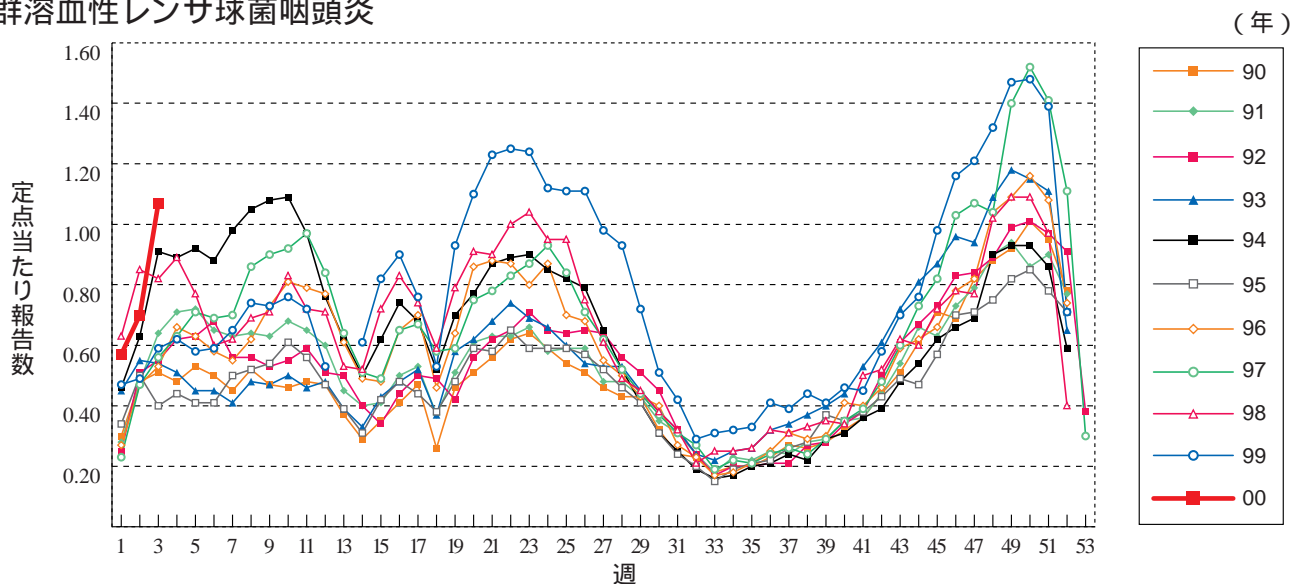
インフルエンザ



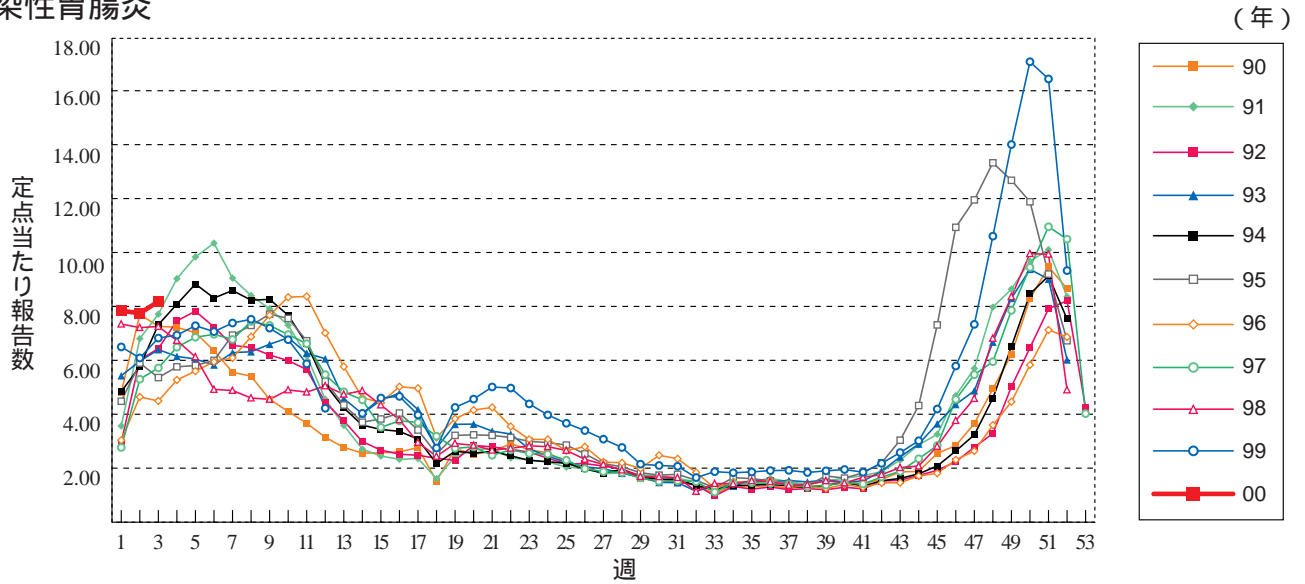
咽頭結膜熱



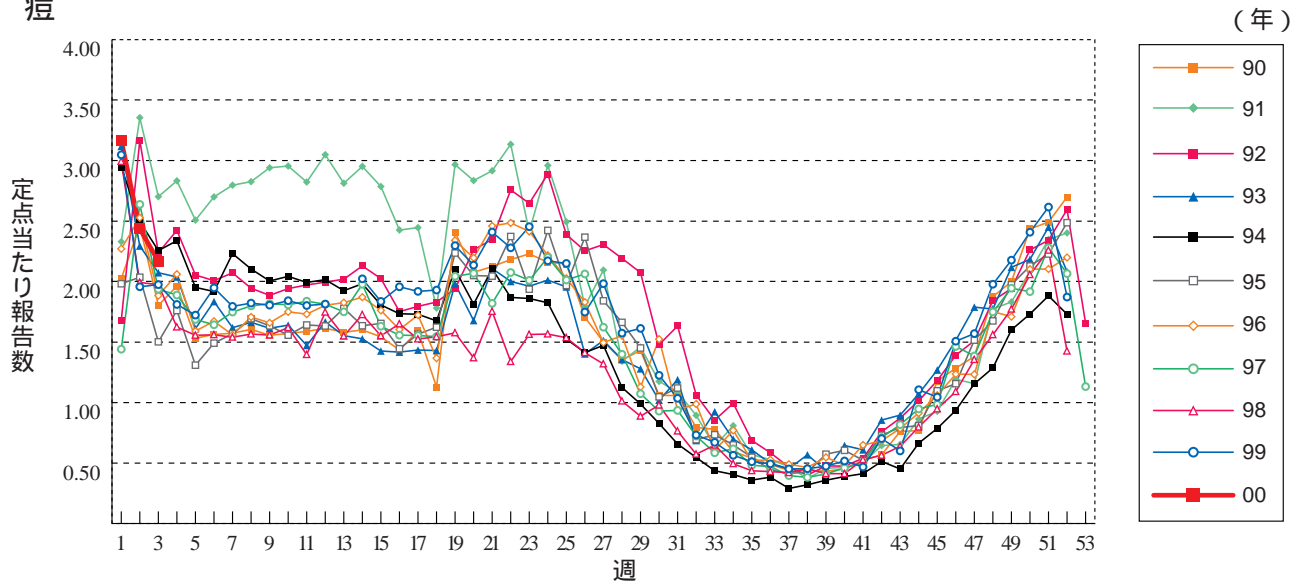
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



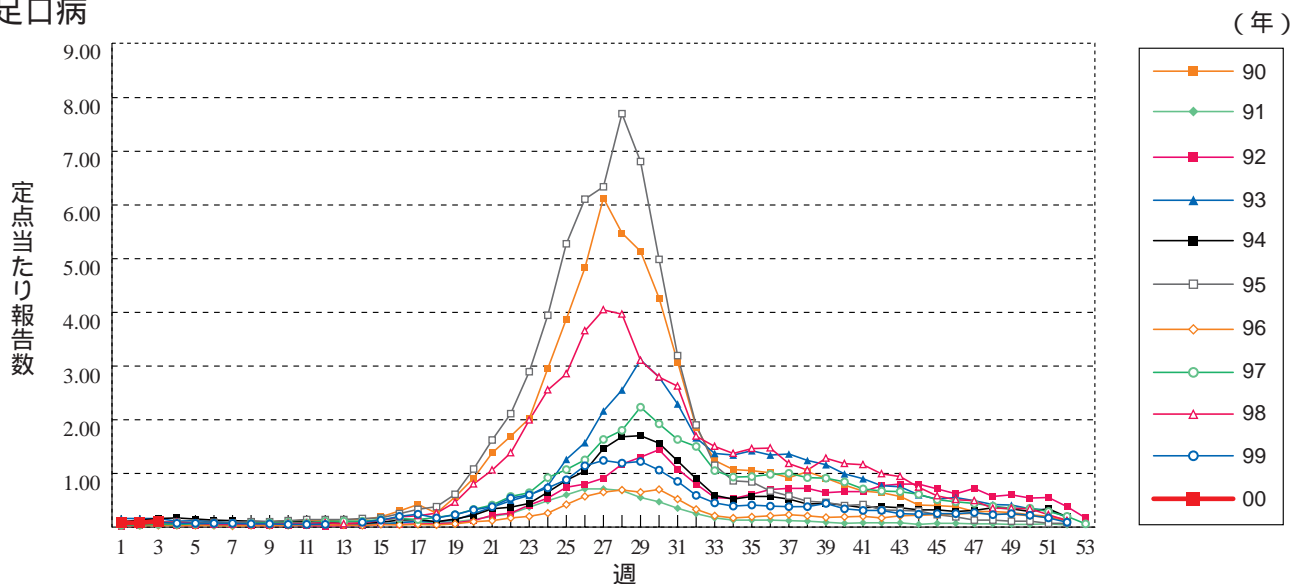
感染性胃腸炎



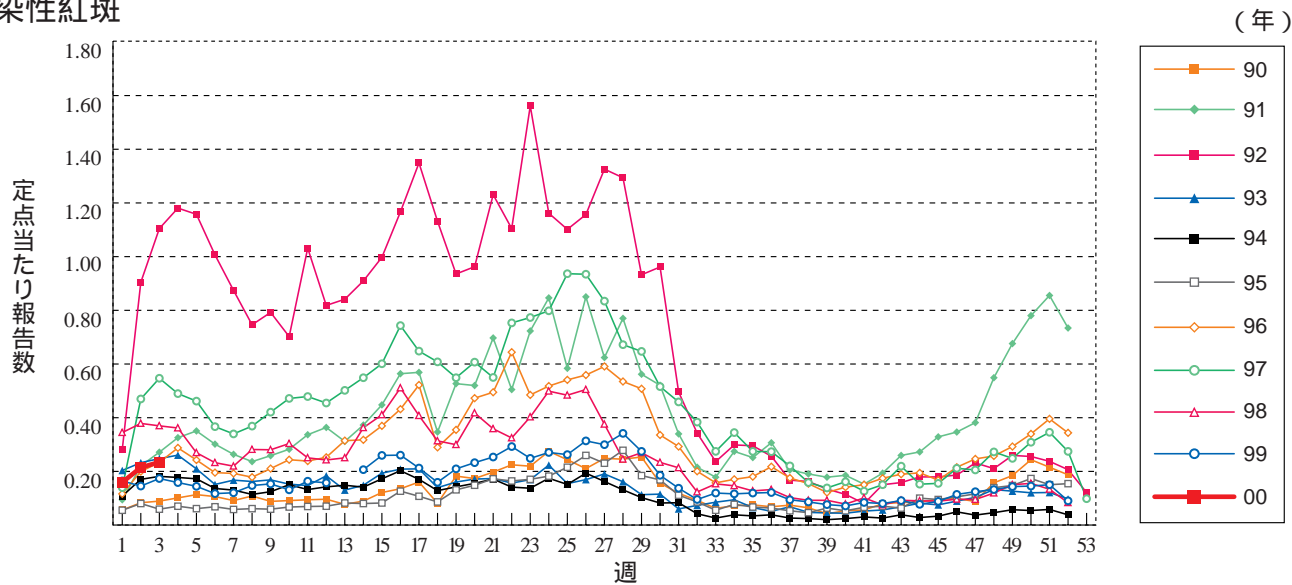
水痘



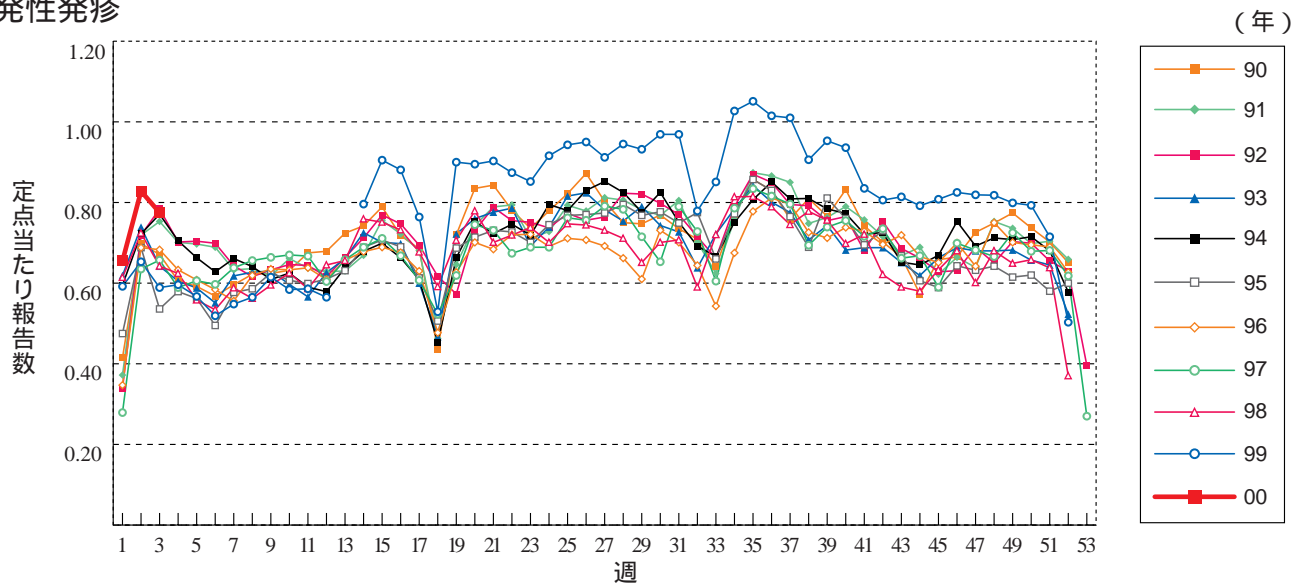
手足口病



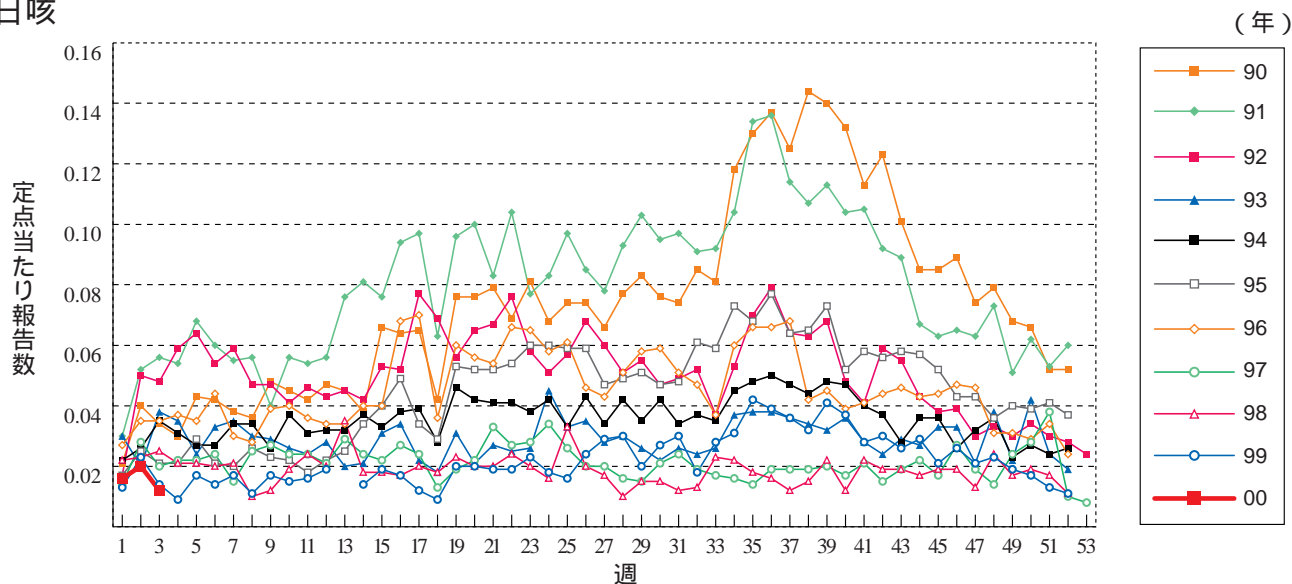
伝染性紅斑



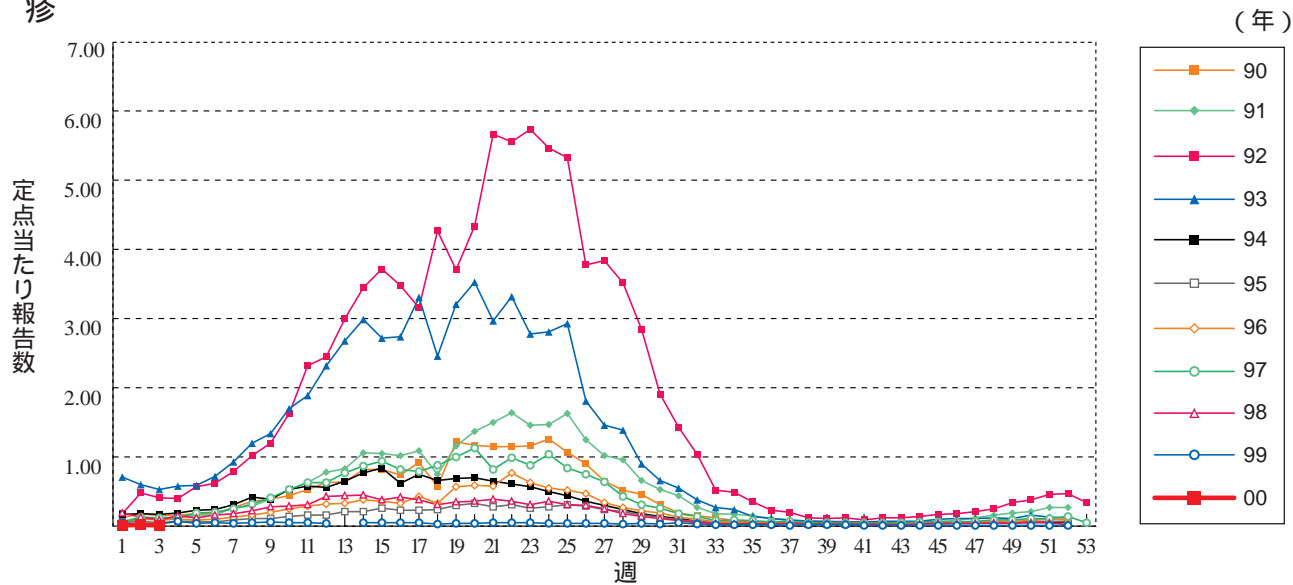
突発性発疹



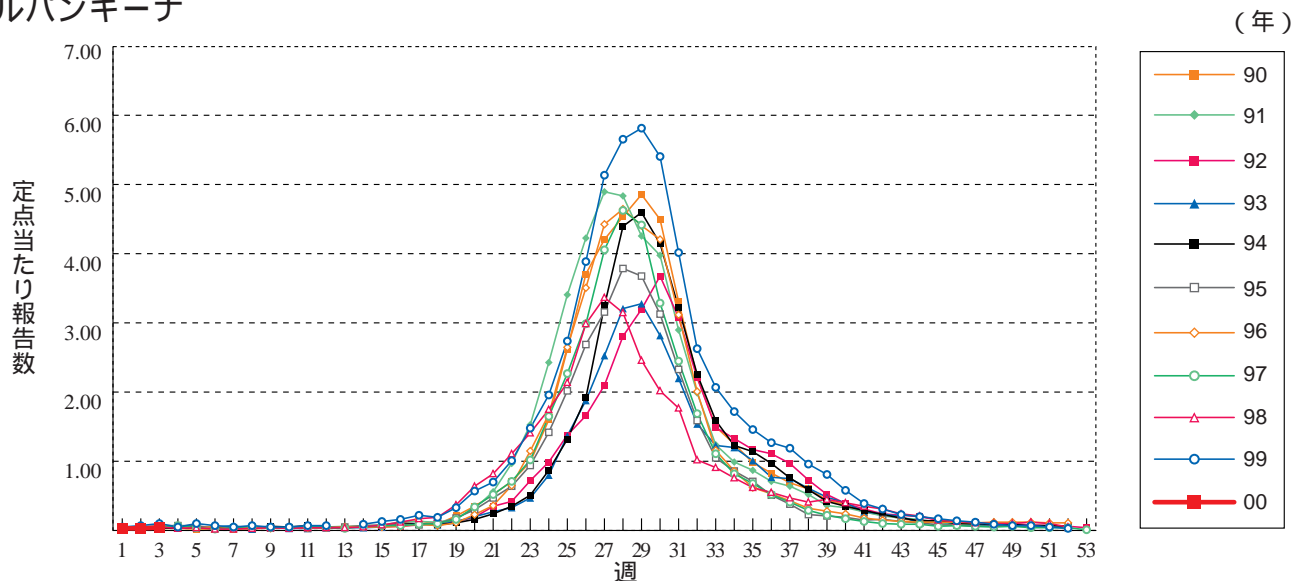
百日咳



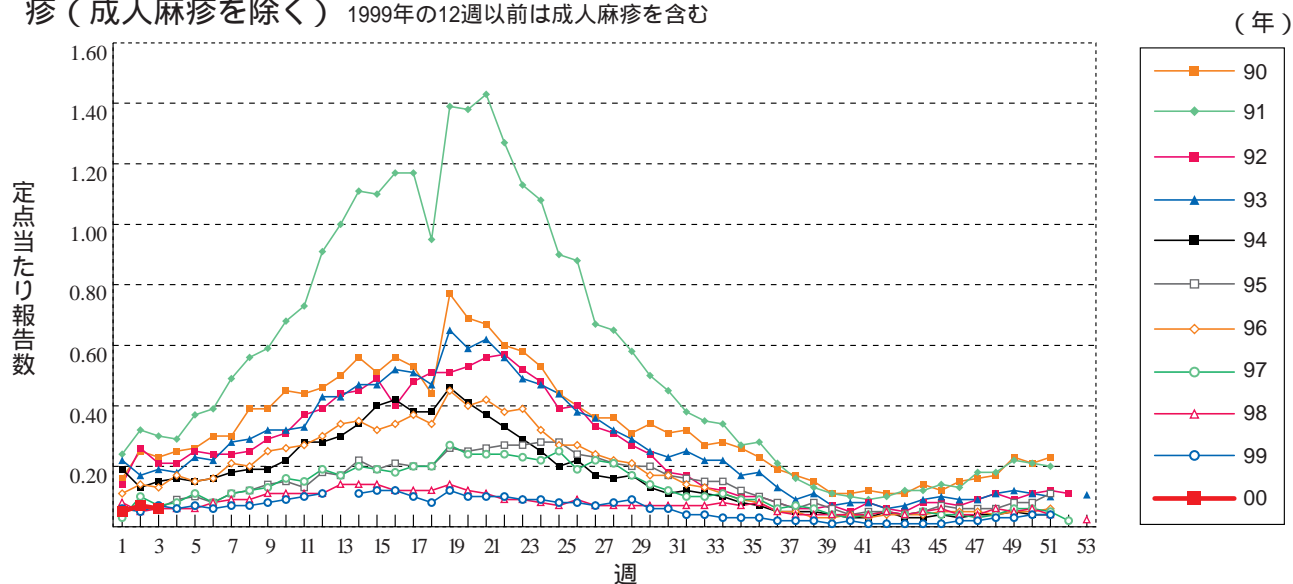
風 疹



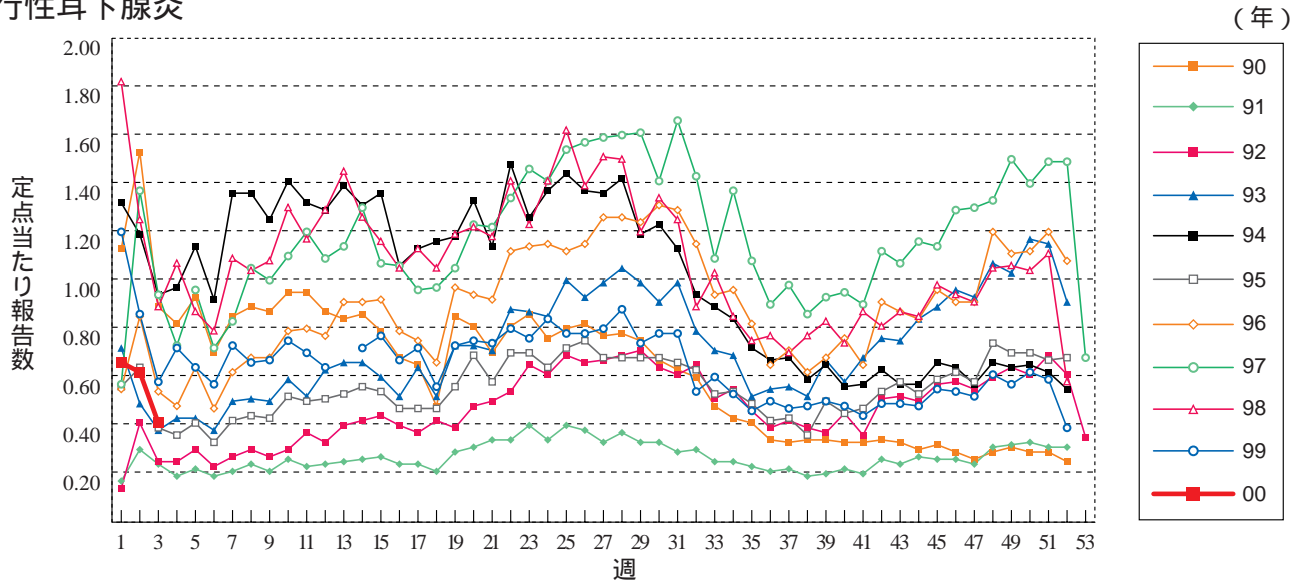
ヘルパンギーナ



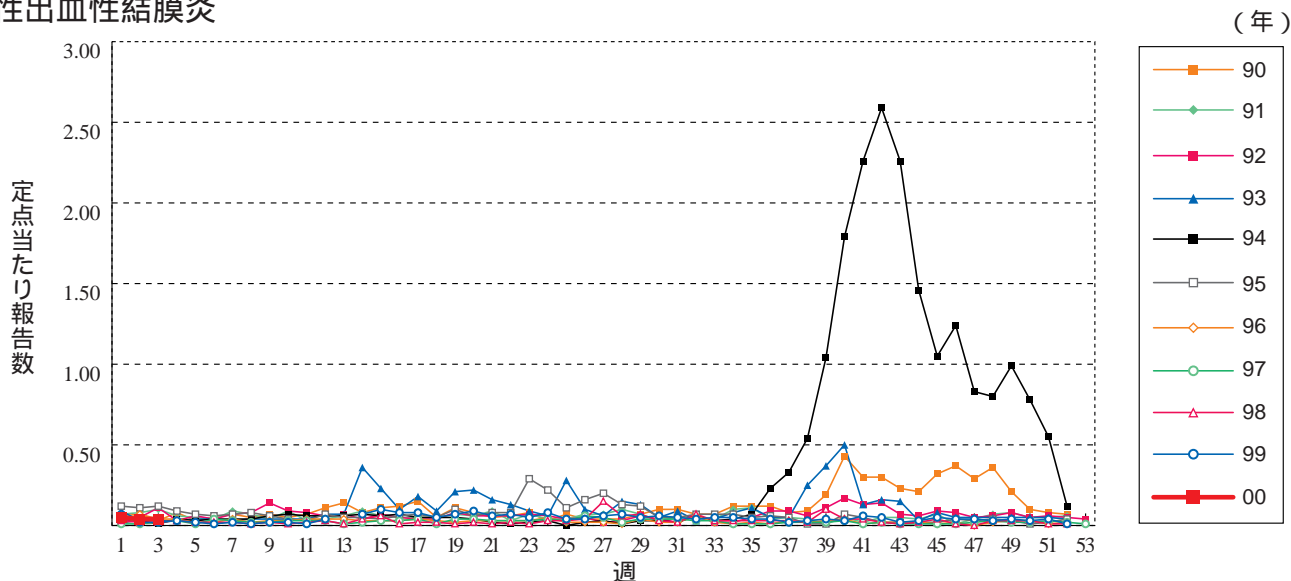
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



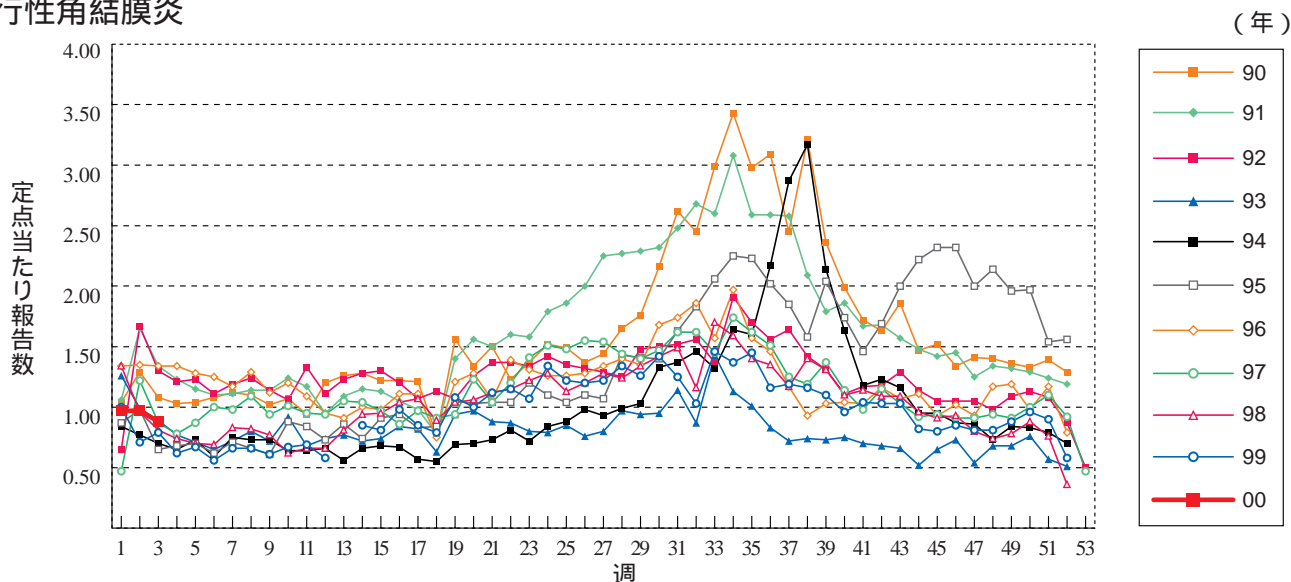
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

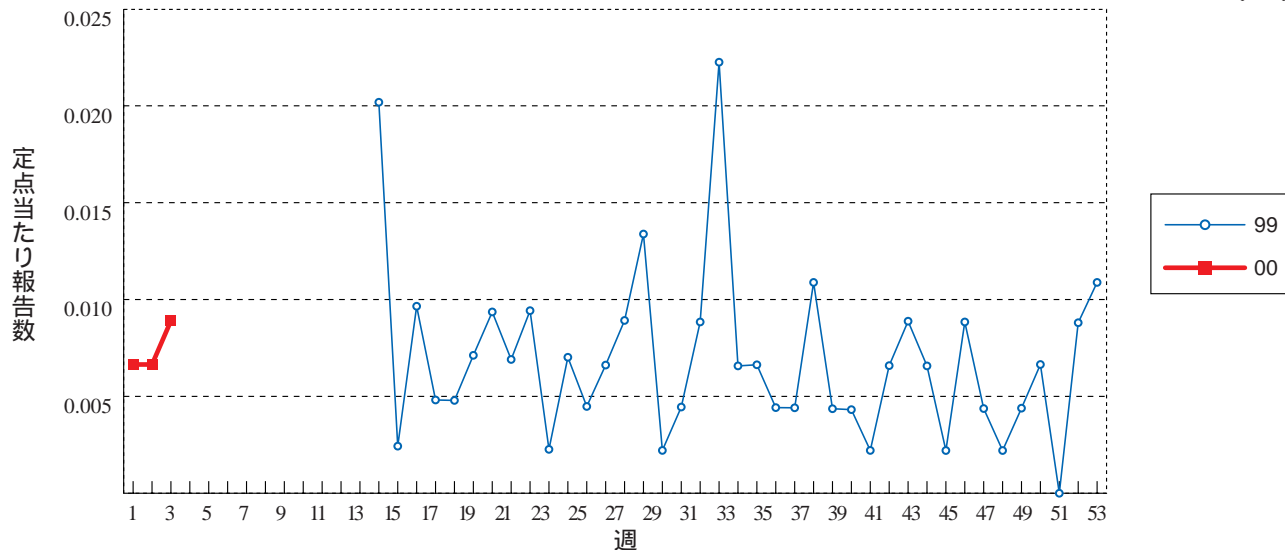


流行性角結膜炎



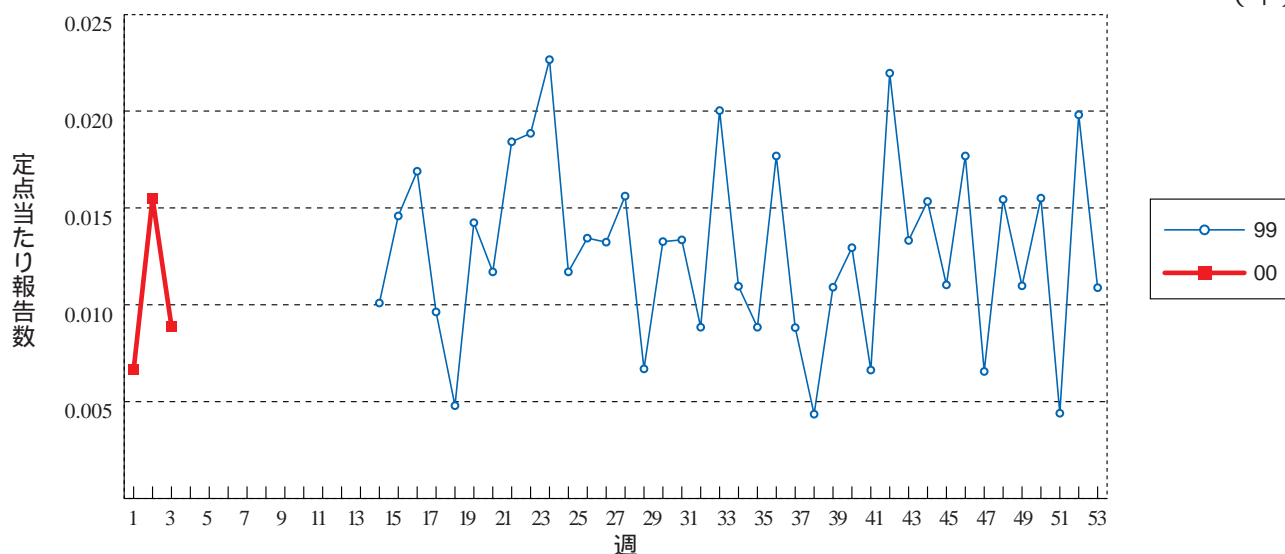
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



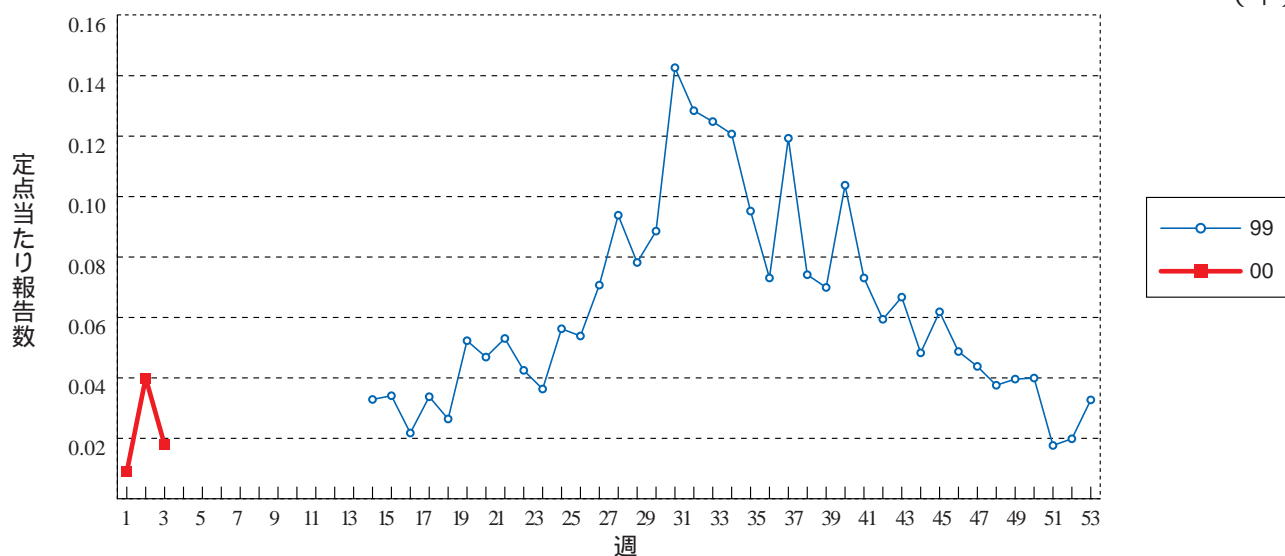
細菌性髄膜炎

(年)



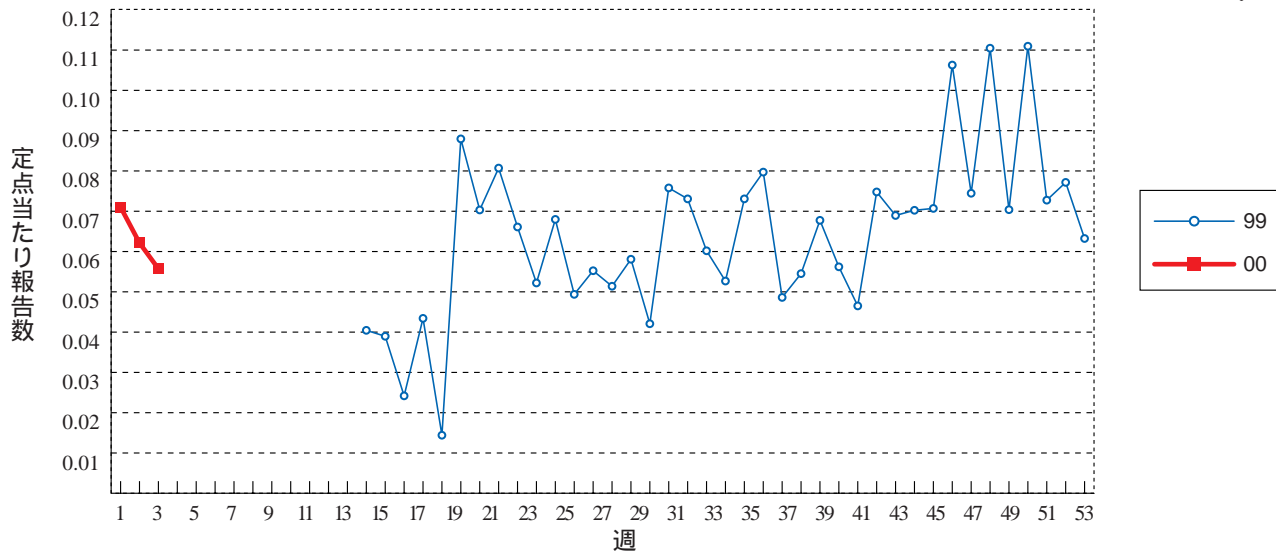
無菌性髄膜炎

(年)



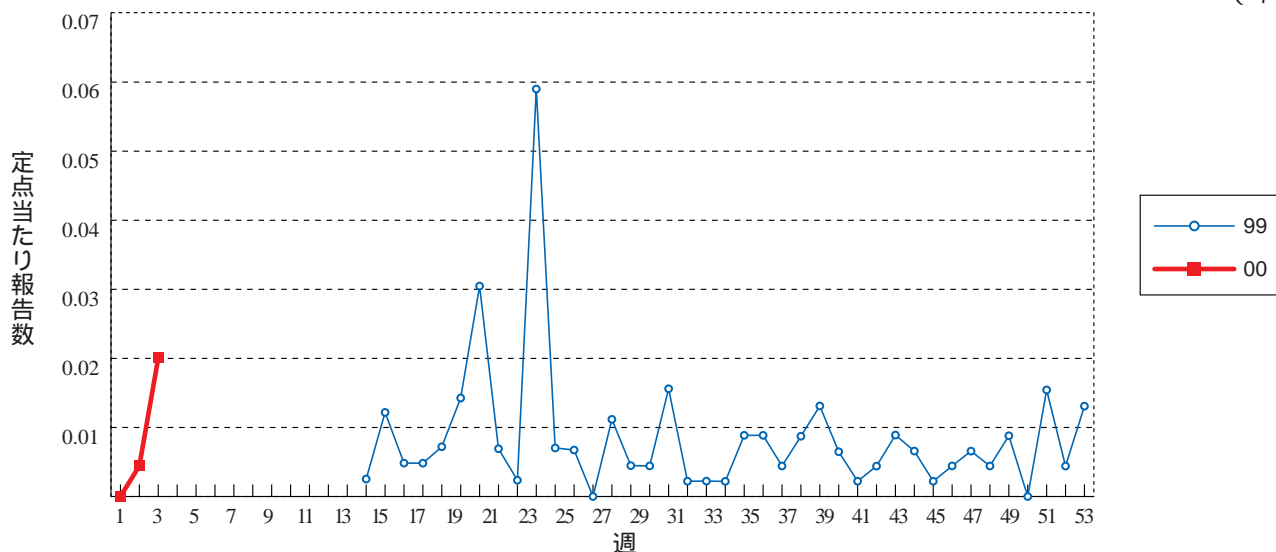
マイコプラズマ肺炎

(年)



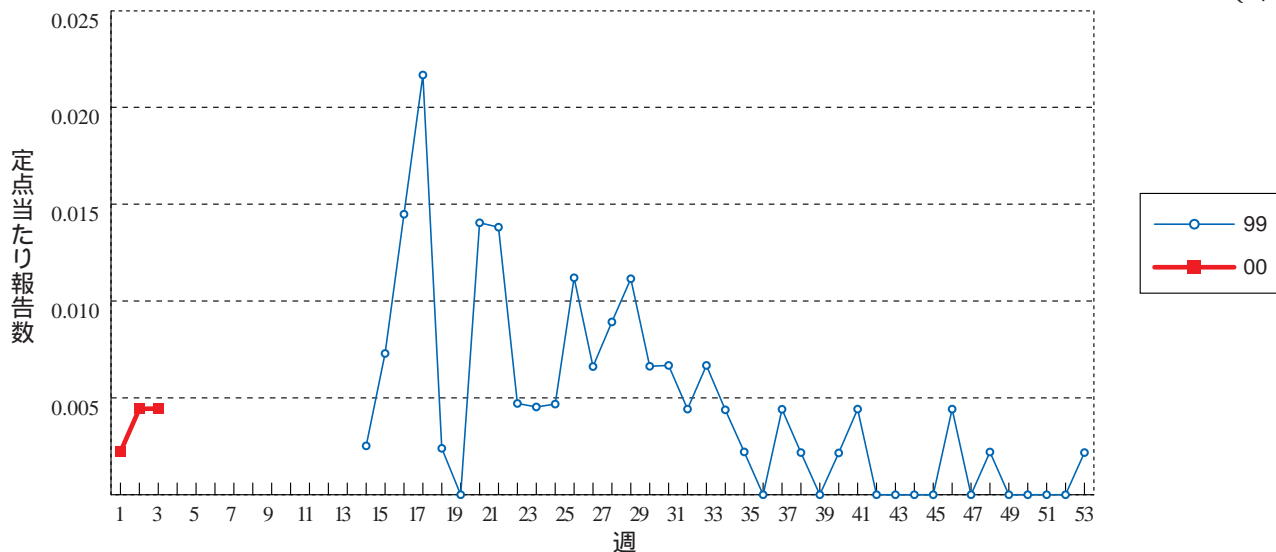
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





3週のデータ

注) 表中の報告数は1月27日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年3週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	11	38	-	-	1	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年3週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	-	11	33	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	61
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	3	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
新潟県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
三重県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
大阪府	-	-	-	-	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年3週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	5	1	1	6	16	-	-	1	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	9	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年3週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	6	27	-	-	-	-	-	-	-	-	8	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年3週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	1	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年3週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	104615	23.05	75	0.03	3117	1.07	24014	8.21	6343	2.17	317	0.11	685	0.23	2266	0.77	34	0.01
北海道	1944	8.53	2	0.01	102	0.71	455	3.16	309	2.15	4	0.03	65	0.45	121	0.84	-	-
青森県	1192	18.63	-	-	29	0.71	189	4.61	83	2.02	1	0.02	18	0.44	30	0.73	1	0.02
岩手県	915	14.76	-	-	19	0.50	158	4.16	102	2.68	-	-	6	0.16	23	0.61	-	-
宮城県	1896	19.55	16	0.27	131	2.22	1119	18.97	166	2.81	2	0.03	19	0.32	65	1.10	1	0.02
秋田県	1722	31.89	-	-	55	1.62	346	10.18	44	1.29	-	-	13	0.38	27	0.79	1	0.03
山形県	1701	35.44	-	-	70	2.33	427	14.23	76	2.53	-	-	3	0.10	39	1.30	1	0.03
福島県	1751	21.89	-	-	53	1.10	517	10.77	127	2.65	1	0.02	58	1.21	23	0.48	-	-
茨城県	1343	12.21	-	-	60	0.83	481	6.68	142	1.97	5	0.07	7	0.10	29	0.40	1	0.01
栃木県	885	12.64	-	-	58	1.26	443	9.63	101	2.20	-	-	-	-	33	0.72	1	0.02
群馬県	1961	19.61	1	0.02	102	1.65	351	5.66	148	2.39	3	0.05	3	0.05	58	0.94	2	0.03
埼玉県	5013	28.16	3	0.03	174	1.55	1076	9.61	282	2.52	1	0.01	23	0.21	98	0.88	1	0.01
千葉県	4041	19.24	1	0.01	230	1.72	1371	10.23	296	2.21	10	0.07	49	0.37	91	0.68	1	0.01
東京都	2592	14.56	1	0.01	75	0.53	901	6.35	153	1.08	1	0.01	34	0.24	55	0.39	-	-
神奈川県	6121	18.27	3	0.01	195	0.95	1530	7.43	386	1.87	22	0.11	81	0.39	166	0.81	2	0.01
新潟県	2604	26.30	-	-	108	1.80	618	10.30	209	3.48	2	0.03	24	0.40	70	1.17	1	0.02
富山県	2388	49.75	-	-	34	1.17	193	6.66	77	2.66	-	-	2	0.07	24	0.83	-	-
石川県	1689	35.19	-	-	25	0.86	320	11.03	92	3.17	1	0.03	2	0.07	19	0.66	-	-
福井県	1736	54.25	-	-	23	1.05	322	14.64	60	2.73	1	0.05	-	-	19	0.86	-	-
山梨県	443	11.07	-	-	23	0.96	180	7.50	27	1.13	-	-	-	-	15	0.63	-	-
長野県	2458	30.35	3	0.06	68	1.31	660	12.69	105	2.02	4	0.08	58	1.12	43	0.83	-	-
岐阜県	2341	39.02	-	-	31	0.79	196	5.03	80	2.05	-	-	3	0.08	21	0.54	-	-
静岡県	3732	27.24	2	0.02	97	1.13	1071	12.45	248	2.88	8	0.09	11	0.13	86	1.00	2	0.02
愛知県	5908	30.61	4	0.02	153	0.84	1344	7.38	328	1.80	2	0.01	30	0.16	135	0.74	-	-
三重県	3410	46.71	-	-	65	1.44	483	10.73	97	2.16	1	0.02	1	0.02	50	1.11	-	-
滋賀県	1861	35.11	2	0.06	20	0.63	87	2.72	30	0.94	4	0.13	2	0.06	14	0.44	1	0.03
京都府	3106	24.65	1	0.01	45	0.62	439	6.01	77	1.05	-	-	8	0.11	44	0.60	-	-
大阪府	3886	14.34	16	0.08	75	0.40	929	4.92	219	1.16	14	0.07	17	0.09	118	0.62	2	0.01
兵庫県	5786	29.22	3	0.02	105	0.82	1265	9.88	292	2.28	10	0.08	18	0.14	103	0.80	2	0.02
奈良県	1479	26.89	-	-	20	0.57	273	7.80	51	1.46	3	0.09	1	0.03	20	0.57	1	0.03
和歌山県	2433	47.71	-	-	27	0.84	209	6.53	86	2.69	-	-	11	0.34	13	0.41	1	0.03
鳥取県	859	29.62	2	0.11	129	6.79	322	16.95	38	2.00	-	-	-	-	26	1.37	-	-
島根県	806	21.21	-	-	33	1.43	198	8.61	22	0.96	1	0.04	-	-	14	0.61	-	-
岡山県	2523	30.77	2	0.04	19	0.35	375	6.94	131	2.43	7	0.13	5	0.09	19	0.35	-	-
広島県	3636	30.55	2	0.03	82	1.09	480	6.40	135	1.80	14	0.19	1	0.01	40	0.53	2	0.03
山口県	2015	28.79	1	0.02	72	1.64	493	11.20	69	1.57	2	0.05	1	0.02	39	0.89	-	-
徳島県	1089	28.66	-	-	19	0.83	229	9.96	61	2.65	-	-	-	-	22	0.96	1	0.04
香川県	715	14.02	-	-	23	0.72	253	7.91	112	3.50	1	0.03	-	-	28	0.88	-	-
愛媛県	2283	35.67	1	0.03	68	1.74	564	14.46	87	2.23	5	0.13	5	0.13	45	1.15	-	-
高知県	1011	20.63	-	-	38	1.23	179	5.77	56	1.81	9	0.29	4	0.13	30	0.97	1	0.03
福岡県	3235	20.74	-	-	75	0.96	628	8.05	172	2.21	22	0.28	34	0.44	61	0.78	5	0.06
佐賀県	758	19.44	-	-	44	1.91	203	8.83	106	4.61	13	0.57	3	0.13	36	1.57	-	-
長崎県	967	13.81	-	-	14	0.32	268	6.09	86	1.95	17	0.39	2	0.05	31	0.70	2	0.05
熊本県	1354	16.72	2	0.04	37	0.76	424	8.65	141	2.88	16	0.33	9	0.18	67	1.37	-	-
大分県	1401	24.16	2	0.06	44	1.22	394	10.94	138	3.83	67	1.86	38	1.06	38	1.06	-	-
宮崎県	598	9.97	2	0.05	83	2.24	582	15.73	189	5.11	-	-	7	0.19	54	1.46	-	-
鹿児島県	1460	15.05	3	0.05	54	0.92	413	7.00	205	3.47	3	0.05	8	0.14	59	1.00	1	0.02
沖縄県	1568	27.03	-	-	11	0.32	56	1.65	102	3.00	40	1.18	1	0.03	5	0.15	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年3週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	103	0.04	179	0.06	1192	0.41	27	0.04	540	0.88	4	0.01	4	0.01	8	0.02
北海道	1	0.01	1	0.01	2	0.01	84	0.58	-	-	16	0.55	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	5	0.12	-	-	18	0.44	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	12	0.32	15	0.39	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	2	0.03	7	0.12	1	0.09	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	2	0.06	5	0.15	-	-	12	0.35	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	18	0.60	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	0.02	9	0.19	9	0.19	1	0.08	14	1.17	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	15	0.21	16	0.22	-	-	35	2.19	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.04	11	0.24	4	0.09	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	-	-	62	1.00	-	-	15	1.07	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	8	0.07	4	0.04	87	0.78	-	-	33	1.27	-	-	-	-	-	-
千葉県	6	0.04	5	0.04	26	0.19	54	0.40	2	0.06	30	0.86	-	-	2	0.22	-	-
東京都	3	0.02	6	0.04	1	0.01	55	0.39	-	-	16	1.14	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	4	0.02	3	0.01	8	0.04	91	0.44	-	-	48	1.14	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	4	0.07	1	0.02	20	0.33	-	-	13	1.44	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	0.05	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	3	0.06	1	0.02	29	0.56	1	0.10	19	1.90	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.03	-	-	3	0.08	23	0.59	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	3	0.03	66	0.77	-	-	16	0.80	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	4	0.02	4	0.02	65	0.36	2	0.06	29	0.83	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	26	0.58	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	-	-	1	0.03	13	0.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	2	0.03	20	0.27	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	8	0.04	27	0.14	32	0.17	2	0.04	34	0.65	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.02	1	0.01	12	0.09	71	0.55	-	-	22	0.63	-	-	1	0.07	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	22	0.63	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	-	-	11	0.34	12	0.38	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	11	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	-	-	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	2	0.04	12	0.22	-	-	15	1.25	-	-	-	-	1	0.20
広島県	1	0.01	4	0.05	1	0.01	32	0.43	3	0.15	20	1.00	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	1	0.02	54	1.23	1	0.11	7	0.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	4	0.17	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
香川県	3	0.09	-	-	13	0.41	8	0.25	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	7	0.18	1	0.14	9	1.29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	11	0.35	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	7	0.09	-	-	19	0.24	-	-	12	0.67	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	8	0.35	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	-	-	5	0.11	13	0.30	10	1.25	11	1.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	3	0.06	-	-	26	0.53	-	-	19	2.11	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	14	0.39	-	-	4	0.11	-	-	5	1.00	1	0.13	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	1	0.03	27	0.73	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	-	-	-	-	11	0.19	-	-	10	1.67	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	3	0.09	1	0.10	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年3週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	25	0.06	9	0.02	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.40	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	-	-	3	0.25	1	0.08
秋田県	5	0.83	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	4	0.44	-	-
千葉県	1	0.11	-	-	-	-
東京都	1	0.04	1	0.04	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.11	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	0.11	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第3号 平成12年2月4日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhw.go.jp/
<厚生省>
http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/
<成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。